

**令和4年度今宮工科高等学校  
第2回 学校運営協議会（定時制部会）**

日 時 令和4年12月13日（火）午後3時～午後5時  
会 場 大阪府立今宮工科高等学校 会議室  
出席者 委員5名、事務局2名

1 准校長挨拶

2 令和4年度10月末現在の進路指導状況について

（委 員）昨年度と比較してどうであったか

（事務局）資料は用意していないが、半数以上の内定率であったと認識している。昨年度と大きな変化はない。（令和3年度75%）

3 授業アンケートの結果について

（委 員）大学でもアンケートを取るが4段階評価で全ての教科が3以上となることはない。非常に高い水準を維持していると感じる。記名式であるのか。

（事務局）記名式である。名前を書くことで責任が発生し、高い評価をつけているとは考えにくい。自由記述欄にも教員に対して改善してほしいことなどを記述する生徒もいる。生徒数が減少しており、生徒一人ひとりに寄り添った指導ができていることが高評価につながっていると感じている。

（委 員）自由記述欄も公開してほしい。

（事務局）第3回には準備しておく。

4 学校の現状について

（委 員）1年生の生徒の人数が少ないのが気かりである。

（事務局）全日制の高校でも定員割れが多数発生している。定時制でないと学ぶことができないといった生徒が少なくなっており、広域通信制の高校に進学する生徒が増加していると聞いている。

（委 員）修学旅行の企業見学はどのような企業に訪れたのか。

（事務局）生徒の興味関心が高い、アニメーション、ゲーム関連の企業を訪問し、クリエイターの仕事などを見学した。

（委 員）大会やコンクールで成果のある部活動に入部している生徒の数は何人か。

（事務局）軟式野球部2名、科学部も常時活動している生徒は2名である。軟式野球部は高野連・高体連の登録が必要ない実定総体では7名が出場した。

5 【協議】令和5年度使用教科書について

（委 員）異議なし

## 6 【協議】スクールミッションについて

(委員) 記載内容に意見はないが、主体的に職業選択するためには企業の実態を知ることが必要。仕事のやりがいと職場での人間関係についても指導してほしい。

(委員) 手厚い指導をされているため、記載内容と合致していると感じる。

(委員) 様々な課題を抱える生徒が多いということであるが、専門人材の配置状況について知りたい。

(事務局) 今年度、スクールカウンセラーが10日、スクールソーシャルワーカー(SSW)が36日勤務している。特にSSWが専門性を生かして、担当教員とともに福祉施設や区役所の担当窓口と生徒・保護者をつないでいる。

(委員) 厳しくという言葉は教員から生徒へ直下型のように聞こえる。説明が必要ではないか。生徒に寄り添った教育を行っている学校では「伴走」という言葉を使用することが多い。検討してほしい。

(事務局) 検討し取り入れていく。

## 7 その他

### ○次回開催予定

第3回 学校運営協議会 令和5年3月4日(土)卒業式終了後  
卒業式にも参列していただくよう願います。